

愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次代

第156号 2023.10

令和5年度 少年の主張愛知県大会

主催 / 愛知県・愛知県青少年育成県民会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構
共催 / 愛知県教育委員会・尾張旭市・尾張旭市教育委員会 後援 / 名古屋市教育委員会・愛知県私学協会



令和5年度少年の主張愛知県大会の様子

CONTENTS

- 表紙／令和5年度少年の主張愛知県大会の様子 1
- 令和5年度「少年の主張」愛知県大会が開催されました 2
- 令和5年度「少年の主張」愛知県大会「最優秀賞」作品紹介 ... 3
- 第54回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者一覧 ... 4
- 令和5年度ボランティア活動功労者表彰受賞者一覧 4
- 私の意見～地域とPTA～ 5
- 「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました ... 6
- 11月は「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間です 6
- 第62回「青少年によい本をすすめる県民運動」..... 7
- 「みんなのネットモラル塾」を開講しています 8



愛知県青少年育成推進キャラクター
「ゆうりい」

令和5年度「少年の主張」愛知県大会が開催されました

愛知県・愛知県青少年育成県民会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催し、愛知県教育委員会・尾張旭市・尾張旭市教育委員会が共催する「令和5年度少年の主張愛知県大会」が、8月18日(金)に尾張旭市文化会館で開催されました。

県内245校の中学校から、36,432名の応募があり、各地区から選ばれた中学生が日頃からの思いや自分の考えを堂々と力強く発表しました。

発表は、家族・学校生活・現代社会や地域に関する内容などで、いずれも社会や世界、そして未来に向けて前向きな考え方をもち、行動しようとする意欲に溢れていました。

各賞の受賞者は右表のとおりですが、最優秀賞を受賞した竹内愛子さん(常滑市立常滑中学校3年)が、全国大会の出場候補者に推薦されることになりました。

| 種 別 | 題 名 | 受 賞 者 |
|--------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 最優秀賞 (愛知県知事賞) | ガチャガチャ言っても 始まらないか! | 常滑市立常滑中学校 3年 竹内 愛子 |
| 優秀賞 (愛知県議会議長賞) | ありのままの自分 | 稲沢市立稲沢中学校 3年 天池 虹遥 |
| 優秀賞 (尾張旭市長賞) | 「私のご褒美チョコレート」 | 半田市立半田中学校 3年 大塚 結友 |
| 優秀賞 (愛知県教育委員会賞) | 国を超え、一人の人間として | 西尾市立鶴城中学校 3年 池内 蘭 |
| 優秀賞 (愛知県青少年育成県民会議会長賞) | 日本で生きてきて | 蒲都市立大塚中学校 3年 小橋川 ホルハ |
| 奨励賞 (愛知県青少年育成県民会議会長賞) | 小さな支援から | 豊田市立井郷中学校 3年 阿部 野乃花 |
| 奨励賞 (同上) | 楽な仕事と楽しい仕事 | 豊川市立西部中学校 3年 井野 友璃 |
| 奨励賞 (同上) | いつかは僕が伝える側に | 西尾市立幡豆中学校 3年 大西 晴人 |
| 奨励賞 (同上) | つなげていく音色 | 岡崎市立翔南中学校 3年 大野 舞子 |
| 奨励賞 (同上) | 「制服選択化」を目指して | 新城市立東郷中学校 3年 杉原 佑希乃 |
| 奨励賞 (同上) | 想いをつなげること | 大口町立大口中学校 2年 高岡 麻和 |
| 奨励賞 (同上) | 本当の私たち | 豊田市立浄水中学校 3年 能見 真央 |
| 奨励賞 (同上) | 「個性」を認め合える社会に | あま市立甚目寺中学校 3年 松浦 心幹 |
| 奨励賞 (同上) | 日本の食の未来に向けて | 尾張旭市立西中学校 3年 三ツ川 莉帆 |
| 共感賞 (*) | ありのままの自分 | 稲沢市立稲沢中学校 3年 天池 虹遥 |

(*)「共感賞」は、開催地尾張旭市の中学生から選ばれた6名がジュニア選考委員となり、最も共感できる作品を選出しました。



〈発表者の皆さん〉



〈ジュニア選考委員の皆さん〉

令和5年度「少年の主張」愛知県大会「最優秀賞」作品紹介

ガチャガチャ言っても始まらないか！

常滑市立常滑中学校 3年 竹内 愛子

私の住んでいる町に、大きな商業施設があり、その一角に、それはそれはビックリするくらいたくさんの台数のガチャガチャが置いてある場所があります。いつもそこには、たくさん子ども達や大人の皆さんが集まっていて、みんなそれぞれ自分の好きなガチャガチャを見つけては楽しんでます。中には何回も何回もお金を出して、くり返しくり返しやっている人もいます。自分の納得いく、求めているものが出てくるまで何回もやっているみたいです。お金持ちな人だなあ、って思います。ガチャガチャって何回やったとしても、何が出てくるのか分からないし、ずっとお金をかけてやっていたら絶対にお目当ての物が出てくるという保証もないし、いくらやっても、延々ずっと自分は全然ほしくない！って物が何回も出続けるのかもしれないし、どうやったってどう努力したって、何が出てくるのかは分からないわけで、自分の力ではどうにもならないことなわけで。



そんな、すべて運に任せるしかないガチャガチャに例えて、「〇〇ガチャ」という言葉が出回っていることを、私は最近知りました。スマホで見つけた記事の中に、「親ガチャ」という言葉がありました。「親ガチャ失敗」「親ガチャハズレ」こんな言葉も書いてありました。「先生ガチャ失敗」「先生ガチャハズレ」最初は、言葉の意味が分かりませんでした。楽しいガチャガチャのイメージがあるので、楽しい言葉かと思ったら、決して楽しい言葉というわけではありませんでした。自分はどんな親の元に生まれてくるかを選ぶことはできない。どんな親の元に生まれてくるかで自分の人生も決まってしまう、という考え方をガチャガチャに例えて表している言葉で流行語大賞にノミネートされるほど若者の間で交わされている言葉だそうです。

実際、私自身は使ったことのない言葉ですが、確かによく考えてみると、私たちは父や母をガチャガチャのように選ぶことはできません。生まれたときから、自分を産んで育ててくれる人は決まっているわけで、自分の意思では選べません。私は、この一見楽しそうに聞こえるけど実はグサッと刺さる言葉が、あまり好きになれません。この言葉が、普通に飛び交う世の中がちょっと悲しいな、って思います。自分の人生のうまくいかないところを百パーセント他の人のせいにしてるように聞こえてきて、もうこれからどんなに頑張ったって努力したってそんな無駄だぜ、って誰かに言われているみたいで悲しくなります。確かに、自分がいくら頑張ったってどうにもならないこと、個人の努力を越えたものもたくさんあると思います。私にとっての人生って、まだまだずっと先の長くて見えない分からない世界なんだろうなあ。分からなくて見えなくて、不安で、なかなか上手くいかなくて、って世界なのかなと思います。

私の母がよく言う言葉、「人生は、うまくいかないことばかり、8割！ほとんどはうまくいかないの！その代わり、残りの2割、うまくいった時はめちゃくちゃうれしい！そのくり返し」母の言うように、はじめからそう覚悟を決めておけば、どうにかこうにか人生の荒波の中でもこぎ続けられるようなそんな気がしてきます。私もいつもそんな強い人間ではいられないので、自分の思うようにいかない時に、思わずこの「ガチャ」という言葉を使ってしまうことがあるかもしれません。もし使ってしまったとしても、心の中では、「自分にもなにか問題点があるんだろうな」って思える、そんな人でありたいです。そして、流行というものは、いつかは廃れていくものだと思って、この「ガチャ」という言葉もそのうち流行しなくなって、世の中から消えてしまえばいいなって思います。だってやっぱり、一度きりの、自分だけの、大切な人生だから。自分だけにしか創り出せない、自分だけの大切な時間だから。この先どんな事が待っているか分からないし、転んでばかりの毎日かもしれないけれど、自分の日々を大切にしたい。

「ガチャガチャ言っても始まらないか！」

自分の気持ちと自分の責任で過ごしていく。そして、ガチャガチャワチャワチャとした楽しい時間が、少しでも増えますように。そんな毎日していきたいです。

第54回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者一覧

県民会議では、毎年県内において青少年の健全育成に多大なる貢献をされた個人・団体を表彰しており、この度、個人の部：5名、団体の部：9団体が受賞されました。

日頃の活動に改めて感謝申し上げるとともに、今後も、それぞれの地域、立場での一層の御活躍を期待します。

■個人の部(青少年)

該当者なし

■個人の部(青少年育成者)

(敬称略)

| 氏 名 | 住 所 | 所 属 団 体 |
|------------|----------|---------------------|
| 永井 照男 | 江南市 | 日本ボーイスカウト愛知連盟江南第3団 |
| 中村 友一 | 西春日井郡豊山町 | 一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟 |
| 三浦 均 | 名古屋市西区 | 中日こども会 |
| 5名(うち公表3名) | | |

■団体の部(青少年団体)

| 団 体 名 | 所 在 地 |
|---------------------|--------|
| ガールスカウト愛知県第91団 | 蒲郡市 |
| 日本ボーイスカウト愛知連盟大治第1団 | 海部郡大治町 |
| 日本ボーイスカウト愛知連盟春日井第2団 | 春日井市 |
| 日本ボーイスカウト愛知連盟東海第3団 | 東海市 |
| 計4団体 | |

■団体の部(青少年育成団体)

| 団 体 名 | 所 在 地 |
|-------------------|---------|
| 味岡中学校区青少年健全育成会 | 小牧市 |
| 白壁少年剣道クラブ | 名古屋市東区 |
| 知多少年補導委員会 | 知多市 |
| 名古屋市立吉根小学校PTA | 名古屋市守山区 |
| 日進市香久山学区家庭教育推進委員会 | 日進市 |
| 計5団体 | |

令和5年度ボランティア活動功労者表彰受賞者一覧

愛知県では、各分野においてボランティア活動を実践し、顕著な事績を収めた個人又は団体に対し表彰を行っています。今年度は、次の方が受賞されました。

(敬称略)

| 受賞者 | 主な活動内容 |
|---------------------------|----------------|
| 井上 勲(一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟) | ボーイスカウトの指導及び育成 |

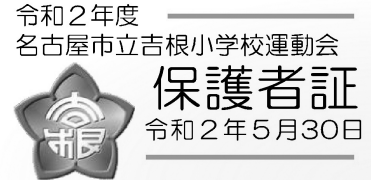
私の意見～地域とPTA～

名古屋市立吉根きっこ小学校 PTA会長 河本 隆一

■ 吉根小学校PTAの活動 ■

吉根小学校は平成19年に開校した小学校で、同時期に吉根小学校PTAも発足しました。

PTAの代表的な活動例としては、地域の方々と連携した活動として、下校の見守り・あいさつ運動・環境デーきっこ(地域清掃)の実施、また安全に関わる活動として、PTAパトロールと地区委員(地区委員は分団登校の指導及び旗当番の管理と運営、通学路の安全見守りなど)制の導入、行事時の保護者シールの配布(運動会等の大きな行事では多くの方が来校されますが、そこに紛れて侵入しようとする不審者を防ぐため、入校前に校門で校外委員始めPTAがシールの添付を確認しています。)により、「入校前に必ず一度チェックする」活動をすることで、侵入の防止と犯罪の抑止に繋がっています。



■ 地域とPTAの連携 ■

地域との連携の活動例として、令和5年3月に吉根小学校おやじの会主催で、愛知県森林公園において、「逃走中in森林公園」というテレビで人気のイベントを行いました。計画段階より小学校の校庭と違い、範囲がかなり広く、おやじの会メンバーだけでは警備・誘導が難しく、また親子参加型のイベントのため、ご弟妹の未就学児の託児の要望もあり、限られたメンバーでの開催は困難が予想されました。この時に地元自治会ははじめ、地元消防団・民生委員の方々に応援要請をさせていただいたところ、地域の子どもたちのために快諾いただき、地域の親子ふれあいイベントを地域一丸となって無事完遂することができました。

また、子どもたちや保護者などから、「通学路の道中にある交差点に車両用の信号機のみ設置され、歩行者信号が設置されていない」等、さまざまな改善の要望がPTAに寄せられ、地元の自治会、交通指導員、小・中学校、地元の県・市議会議員、PTAが連携して所轄の警察署へ改善要望を強く行ったことにより、翌年度には改善をしていただくことができました。

■ 今後の活動目標 ■

地域とPTAの連携をより高めつつ、意義あるPTAを目指す為に定期的な見直しや改善を行い、常に活動内容の更新を行っていくことで、参加したくなるPTA活動を目指し、小学校を卒業する時に、子どもたち・保護者から「吉根小学校でよかった」と思ってもらえるような運営をしてみたいと考えております。



「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました ～非行の芽 はやめにつもう みな我が子～

県民会議では、県、県教育委員会、県警察本部と共催で7・8月の2か月間、「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(夏期)」を行いました。

青少年へのスマートフォン等の普及に伴い、SNSを起因とする事犯の被害児童数は高い水準で推移している状況や、SNSなどで募集される闇バイトに、青少年が応募して詐欺などの犯罪の片棒を担がされている状況があります。

そこで、自治体、関係団体等が相互に協力しながら、地域一体となった青少年の非行・被害の防止のための各種取組を実施しました。

【運動の重点項目等】

| | |
|---------|--|
| ◎ 最重点項目 | インターネット利用におけるこどもの犯罪被害等の防止 |
| ○ 重点項目 | 有害環境への適切な対応 薬物乱用対策の推進 不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止 再非行(犯罪)の防止 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動への対応 |

【運動結果】

各機関・団体では、広報や青少年に対する講話などを中心とした活動を実施しました。

【主な取組】

- ・ FM AICHI番組「AICHI SUNDAY TOPICS」における被害防止広報等の実施
- ・ 各市町村窓口におけるチラシ、のぼり等での非行・被害防止広報の実施
- ・ 自画撮り被害防止アプリ「コドマモ」の周知活動
- ・ 高校において、闇バイトに関する講話やグループディスカッションの実施

11月は「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間です

ひきこもりや不登校、若年無業者、貧困などの社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の問題や、少年非行、いじめ、児童虐待、児童ポルノや児童買春を始め子どもが被害者となる事件など、社会全体で取り組まなければならない課題が山積しています。

県民会議では、内閣府の「子供・若者育成支援推進強調月間」に合わせ、県とともに毎年11月を「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間と定め、各関係機関、団体により、広報啓発活動や各種事業等を集中的に実施し、子ども・若者の健やかな育成や自立への支援を呼びかけます。

この機会に、子ども・若者を取り巻く環境を、大人自身が再度見直し、子ども・若者を地域全体で育成し、自立を促すための支援のネットワークの輪を広げていきたいと思います。

第62回「青少年によい本をすすめる県民運動」 ～はがきによる読書感想文・感想画を募集しています～

青少年が「優れた本(よい本)」を読み、心の糧とすることは、青少年の想像力、社会性を養うとともに、豊かな人間性を培う上で大きな役割を果たすものです。

県民会議では、読書を通じて青少年の健全育成を図るため、毎年10月の強調月間を中心として、「青少年によい本をすすめる県民運動」に取り組んでおり、今年度で62回目となります。

青少年が本に親しみ、読書習慣をつくる契機となるよう、読書感想文・感想画を以下のとおり募集します。

- 応募方法 下記の募集図書16冊の中から好きな図書を1冊読み、読書感想文・感想画をはがきにかいて、郵便番号、住所、氏名、学校名・学年又は職業・年齢を明記の上、お送りください。
- 応募資格 県内在住又は県内に通学・通勤している方
- 応募期限 2023年11月6日(月)【必着】
- 応募先 〒460-8501 (住所記載不要) 愛知県青少年育成県民会議事務局

読書感想文募集図書一覧

| 作品名 | 著者名／訳者名 | 出版社 | 本体価格 |
|-----------------|------------------------------------|--------|--------|
| 幼児向け | | | |
| おもわずおもわず | 作:えがしら みちこ | あかね書房 | ¥1,400 |
| いただきまーす | 作:accototoふくだ としお+あきこ | 大日本図書 | ¥1,300 |
| ねずみくんのチョコッキ | 作:なかえ よしお 絵:上野 紀子 | ポプラ社 | ¥1,300 |
| 小学校低学年向け | | | |
| しんぱいなことがありすぎます! | 作:工藤 純子 絵:吉田 尚令 | 金の星社 | ¥1,300 |
| ちきゅうのための1じかん | 作:ナネット・ヘファーナン 訳:おがわ ひとみ 絵:バオ・ルー | 評論社 | ¥1,400 |
| おおきなおおきなおいも | 原案:市村 久子 作・絵:赤羽 末吉 | 福音館書店 | ¥1,200 |
| 小学校中学年向け | | | |
| きっと、大丈夫 | 作:いまた あきこ 絵:黒須 高嶺 | 文研出版 | ¥1,300 |
| どっちでもいい子 | 作:かさい まり 絵:おとない ちあき | 岩崎書店 | ¥1,200 |
| ぼくは川のように話す | 文:ジョーダン・スコット 訳:原田 勝 絵:シドニー・スミス | 偕成社 | ¥1,600 |
| 小学校高学年向け | | | |
| 東京タワーに住む少年 | 文:山口 理 絵:ふすい | 国土社 | ¥1,400 |
| 空から見える、あの子の心 | 作:シェリー・ピアソル 訳:久保 陽子 絵:平澤 朋子 | 童心社 | ¥1,500 |
| チームふたり | 作:吉野 万理子 | Gakken | ¥900 |
| 中学生・高校生向け | | | |
| 笹森君のスカート | 作:神戸 遥真 | 講談社 | ¥1,400 |
| 文豪中学生日記 | 著:小手鞠 るい | あすなろ書房 | ¥1,400 |
| 青年向け | | | |
| やりたいことが見つからない君へ | 著:坪田 信貴 | 小学館 | ¥900 |
| 大人になるってどういうこと | 著:神内 聡 | くもん出版 | ¥1,500 |

「みんなのネットモラル塾」を開講しています

子どもたちが安全にインターネットを利用するためには、保護者と子どもの双方が、インターネットに潜む危険性やその対策を理解し、インターネットを適切に利用するための家庭でのルールづくりを行うことが大切です。

愛知県では、家庭でのルールづくりを支援する「青少年のネット安全・安心講座 ～みんなのネットモラル塾～」を2018年度から毎年開催しており、今年度も引き続き開講しています。

講座の内容

- ・子どもたちが巻き込まれやすいトラブルや危険性、フィルタリングの必要性について理解を深めていただけます。
- ・相手からの要求に応じ、自分の裸体の撮影画像等を送らされる「自撮り被害」や、高額な報酬を得る代わりに特殊詐欺や強盗等の犯罪行為に加担する「闇バイト」など、近年多発しているSNSを介した犯罪やトラブルの事例を交えながら、子どもたちがSNSを利用する際の基本的な注意点や、家庭でのルールづくりについて学びます。

| | |
|-------------|---|
| 実施期間 | 2023年6月1日(木)から2024年3月15日(金)まで |
| 講座形式 | 出張講座又はオンライン講座 |
| 対象者 | 保護者、教職員、児童・生徒、その他子どもたちを見守る立場にある大人 等 |
| 受講者数 | 30人程度から御希望の人数まで、可能な範囲で対応します。 |
| 受講時間 | 1～2時間を基本としますが、御希望に応じて柔軟に対応します。 |
| 講師 | 県が委託する事業者が講師を手配します。 (委託事業者：スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社) |
| 会場 | 学校の教室、講堂、地域の公民館 等 ※受講場所は申込者様が御準備ください。 |
| 受講費用 | 無料(オンライン講座の場合、通信費は自己負担) |



申込方法

講座開催希望日の1週間前までに、いずれかの方法でお申込みください。

①Webページからのお申込み

<https://www.netmoral-jyuku.jp/apply/> (右下のQRコードからもアクセス可能)

②FAXでのお申込み

下記のWebページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、申込先宛てに送信してください。

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/netmoral.html>

申込先

ネットモラル塾事務局：県委託先(スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社)

講座専用電話：052-774-5133 (月～金 10:00～17:00 ※祝日及び年末年始を除く)

FAX：052-726-3243



みんなのネットモラル塾
申込サイト

Webサイトのご紹介

「みんなのネットモラル塾」の内容をより多くの方々へ学んでいただくため、同講座のWebサイトを公開しています。講座を受講できない方でも、御自身で講座内容を学ぶことができる内容となっておりますので、ぜひ御活用ください。

<https://www.netmoral-jyuku.jp/>

